

資 料	6
--------	---

令和 8 年度  
病院事業会計当初予算（案）の概要  
（東陽病院）

概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	2～6
資料（繰入金の状況）	・・・・	7

## 予算（案）の概要

東陽病院の経営状況は、令和6年度は、内科、外科及び整形外科医師が退職し6人体制となったため、入院・外来ともに患者数が減少し、医業収益は減収となりましたが、令和7年度も、常勤医師数は6人体制となり前年から増減はなく、人口減少の影響のほか、近隣医療機関の充実により、入院・外来ともに患者数が減少し、医業収益は大幅な減収となっています。

令和8年度当初予算では、東陽病院経営強化プランに掲げる数値目標及び令和7年度の実績から医業収益を見込み計上した一方、費用については、人事院勧告に伴う給与費の増、物価高騰及び人件費の上昇等による経費の増を見込んだほか、老朽化による施設の修繕及び医療機器の更新を図るべく投資的費用を計上しました。

当院を取り巻く環境は、患者数の減少に加え、物価高騰や人件費の上昇の影響もあり、経営は厳しい状況ではありますが、地域医療を担う町立病院として安定的な運営に資する予算としました。

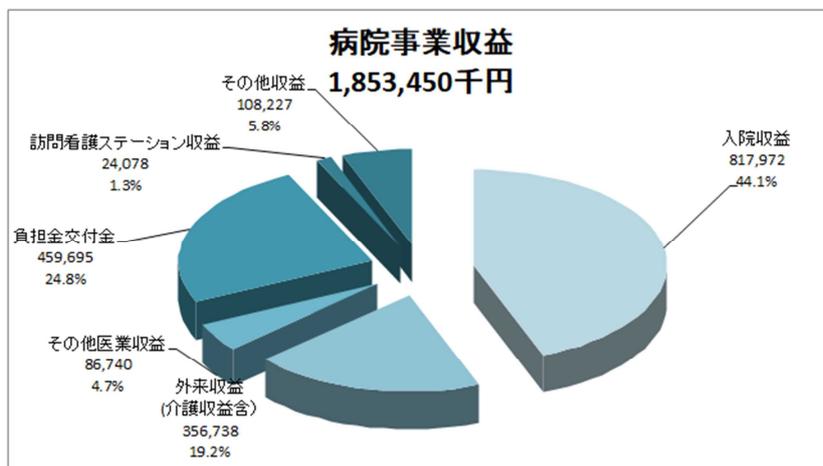
## (収益的収入及び支出)

収益的収支予算の総額は、収入支出ともに18億5,345万円を計上しました。

収入

(単位：千円、%)

款・項	令和8年度		令和7年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1. 病院事業収益	1,853,450	100.0	1,810,800	100.0	42,650	2.4
1. 医業収益	1,261,450	68.1	1,244,298	68.7	17,152	1.4
2. 訪問看護ステーション収益	24,078	1.3	23,887	1.3	191	0.8
3. 医業外収益	567,920	30.6	542,613	30.0	25,307	4.7
4. 特別利益	2	0.0	2	0.0	0	0.0

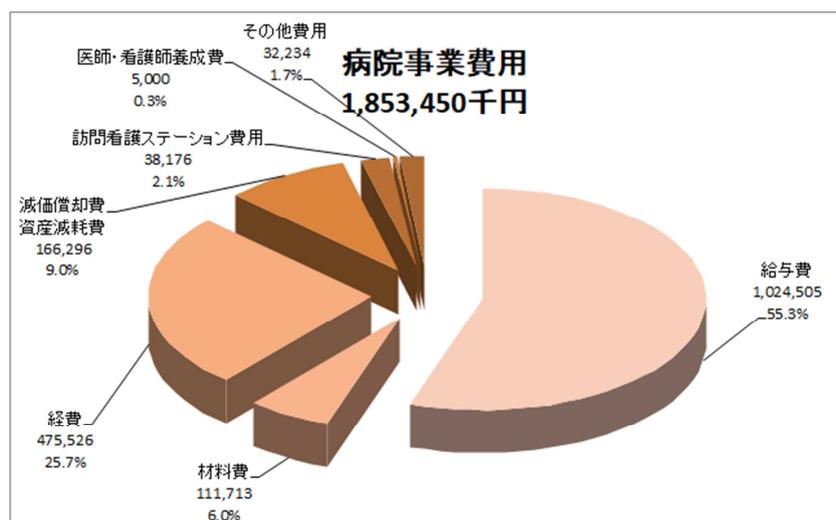


- 1 項の医業収益は、入院・外来収益、救急医療に係る一般会計繰入金、輪番制当番医受託収益、室料差額収益、健診収益、人間ドック収益等で、一日平均患者数を入院で70人、外来で160人を見込んだほか、入院及び外来収益の一人当たりの単価実績をもとに、総額12億6,145万円を計上しました。前年度比較で1,715万2千円(1.4%)の増となっています。
- 2 項の訪問看護ステーション収益は、令和7年度の実績を基に年間訪問日数241日、総利用者数2,892人を見込み、2,407万8千円を計上しました。前年度比較で19万1千円(0.8%)の増となっています。
- 3 項の医業外収益は、一般会計繰入金のほか、患者外給食収益・売店収益等で、総額5億6,792万円を計上しました。前年度比較で2,530万7千円(4.7%)の増となっています。
- 4 項の特別利益は、存目計上です。

支出

(単位：千円、%)

款・項	令和8年度		令和7年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1. 病院事業費用	1,853,450	100.0	1,810,800	100.0	42,650	2.4
1. 医業費用	1,782,525	96.2	1,734,021	95.8	48,504	2.8
2. 訪問看護ステーション費用	38,176	2.1	37,333	2.1	843	2.3
3. 医業外費用	31,747	1.6	38,444	2.0	△ 6,697	△ 17.4
4. 特別損失	2	0.0	2	0.0	0	0.0
5. 予備費	1,000	0.1	1,000	0.1	0	0.0



- 1 項の医業費用の総額は、1 7 億 8, 2 5 2 万 5 千円を計上しました。  
 給与費は、医師 7 名、看護師 5 9 名、医療技術員 1 7 名、事務員 9 名、労務員 1 5 名の計 1 0 7 名の正職員のほか、会計年度任用職員の人件費となっています。材料費は、診療に係る薬品、医療材料等、経費は、非常勤医師の報償費、診療以外に係る消耗品や光熱水費関係、各種機器のリース料及び保守点検料、各種業務委託料等で、その他に固定資産に係る減価償却費、医学雑誌や学会等の経費等を計上しました。人事院勧告による人件費の増を見込み、前年度比較で 4, 8 5 0 万 4 千円 ( 2. 8 %) の増となっています。
- 2 項の訪問看護ステーション費用の総額は、3, 8 1 7 万 6 千円を計上しました。前年度比較で 8 4 万 3 千円 ( 2. 3 %) の増となっています。
- 3 項の医業外費用の総額は、3, 1 7 4 万 7 千円を計上しました。支払利息及び企業債取扱諸費は、長期資金 6 件の利息返済、その他雑損失は、控除対象外消費税の発生に係る支出額を、その他売店費用等は、実績を基に算出し計上したほか、医師・看護師養成費 ( 奨学金貸付 ) について、看護師の奨学金貸付者の減を見込んだことから、前年度比較で 6 6 9 万 7 千円 ( 1 7. 4 %) の減となっています。
- 4 項の特別損失は、存目計上です。
- 5 項の予備費は、前年度同様 1 0 0 万円を計上しました。

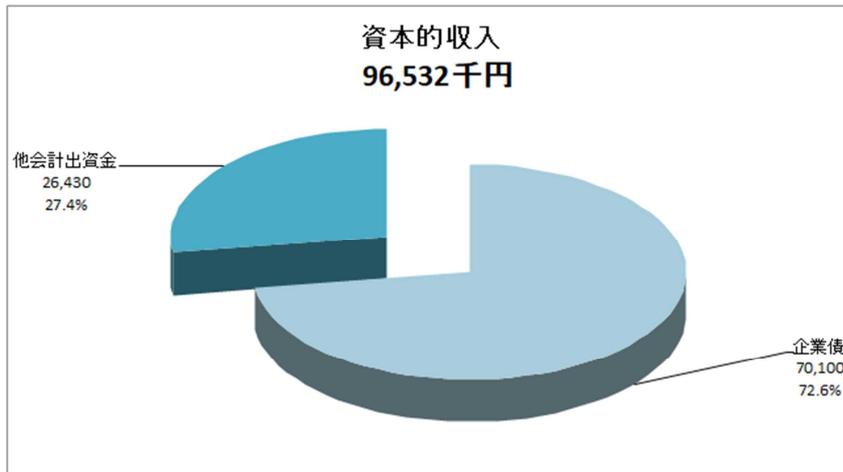
### (資本的収入及び支出)

資本的収支予算の収入総額は、9, 6 5 3 万 2 千円、支出総額は 1 億 3, 6 6 7 万 7 千円を計上しました。

収入

(単位：千円、%)

款・項	令和 8 年度		令和 7 年度		比 較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1. 資本的収入	96,532	100.0	56,872	100.0	39,660	69.7
1. 企業債	70,100	72.6	26,000	45.7	44,100	169.6
2. 出資金	26,430	27.4	30,870	54.3	△ 4,440	△ 14.4
3. 補助金	2	0.0	2	0.0	0	0.0



○ 1項の企業債は、医療機器整備事業及び施設設備整備事業の財源として、7,010万円を計上しました。前年度比較で4,410万円(169.6%)の増となっています。

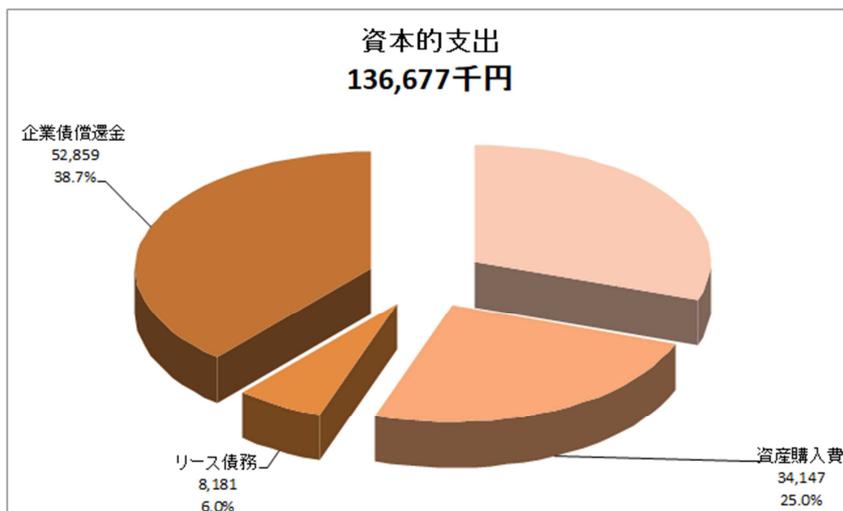
○ 2項の出資金は、一般会計繰入金で2,643万円を計上しました。企業債償還金に係る一般会計出資金の減により前年度比較で444万円(14.4%)の減となっています。

○ 3項の補助金は、存目計上です。

支出

(単位：千円、%)

款・項	令和8年度		令和7年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1. 資本的支出	136,677	100.0	97,200	100.0	39,477	40.6
1. 建設改良費	83,818	61.3	41,344	42.5	42,474	102.7
2. 企業債償還金	52,859	38.7	55,856	57.5	△ 2,997	△ 5.4



- 1項の建設改良費は、施設設備整備事業として1階患者用トイレ等改修工事に係る費用を計上したほか、資産購入費として外科内視鏡下手術システム更新に係る費用や各種医療機器の購入費、リース債務として臨床化学分析装置及びLED照明のリース料など、8,381万8千円を計上しました。前年度比較で4,247万4千円(102.7%)の増となっています。
- 2項の企業債償還金は、長期資金4件の元金返済で5,285万9千円を計上しました。前年度比較で299万7千円(5.4%)の減となっています。
- 支出に対し収入が不足する4,014万5千円は、過年度分損益勘定留保資金で補填します。

## 繰入金の状況

(単位：千円、%)

項	目	令和8年度 (当初予算)	令和7年度 (当初予算)	比 較	
				増減額	増減率
収益的 収入	1. 救急医療の確保に要する経費	39,199	39,355	△ 156	△ 0.4
	2. リハビリテーション医療に要する経費 (収支不足額)	29,922	28,769	1,153	4.0
	3. 高度医療に要する経費	28,831	28,831	0	0.0
	4. 企業債償還金(利子)	753	340	413	121.5
	5. 経営基盤強化対策	167,034	168,712	△ 1,678	△ 1.0
	6. 財政再建企業等	30,777	27,857	2,920	10.5
	7. 不採算地区病院運営に要する経費	167,054	145,266	21,788	15.0
	収益的収入 計	463,570	439,130	24,440	5.6
資本的 収入	1. 建設改良費に要する経費	0	2,942	△ 2,942	△ 100.0
	2. 企業債償還金(元金)	26,430	27,928	△ 1,498	△ 5.4
	資本的収入 計	26,430	30,870	△ 4,440	△ 14.4
合 計		490,000	470,000	20,000	4.3